

令和8年度鹿児島県公立高等学校入学者選抜方法案内

- 推薦入学者選抜の定員や選抜の内容等、各高等学校の入学者選抜の詳細については、各高等学校の募集要項を御確認ください。

全日制

鹿児島学区

学 校 名	学 科 名	募 集 定 員	推 薦 入 試			学 区 外 か ら の 一 定 枠		学科併願可能学科			く ぐ り 募 集	帰 徒 別 等 選 抜	生 特 抜		
		(人)	定 員 (以 内)	自 己 推 薦	学 校 推 薦	(以 内)	(人)	推 薦 入 試	学 力 検 査	第 二 次 選 抜					
鶴 丸	普 通	320	10%	○	○	10%	32						○		
甲 南	普 通	320	10%		○	10%	32						○		
鹿 児 島 中 央	普 通	320	10%	○	○	10%	32						○		
錦 江 湾	普 通	160	10%	○	○	10%	16						○		
	理 数	80	30%	○	○			普通	普通	普通			○		
武 岡 台	普 通	240	10%	○		10%	24		情報科学				○		
	情 報 科 学	80	30%	○					普通				○		
開 陽	普 通	120	15%	○	○				福祉				○		
	福 祉	40	15%	○	○				普通				○		
明 桜 館	文 理 科 学	120	30%	○	○			商業	商業	商業			○		
	商 業	80	30%	○	○			文理科学	文理科学	文理科学			○		
松 陽	普 通	240	30% *1	○	○	10%	24		音楽又は美術	音楽又は美術			○		
	音 楽	40	65%	○	○				普通	普通			○		
	美 術	40	65%	○	○				普通	普通			○		
鹿 児 島 東	普 通	80	10%	○	○								○		
鹿 児 島 工 業	工 業 I 類	240	30%	○				工業Ⅱ類	工業Ⅱ類	工業Ⅱ類	4系分		○		
	工 業 II 類	120	30%	○				工業Ⅰ類	工業Ⅰ類	工業Ⅰ類	3系分		○		
鹿 児 島 南	普 通	160	10%		○	10%	16						○		
	商 業	80	25%		○				情報処理				○		
	情 報 処 理	40	20%		○				商業				○		
	体 育	40	80%	○	○								○		
吹 上	電 気	40	30%	○	○				第3志望まで				○		
	電 子 機 械	40	30%	○	○								○		
	情 報 処 理	40	30%	○	○								○		
伊 集 院	普 通	240	10%	○	○	10%	24						○		
市 来 農 芸	農 業	40	30%	○	○			第2志望まで	第2志望まで	第2志望まで			○		
	畜 産	40	30%	○	○										○
	環 境 園 芸	40	30%	○	○										○
串 木 野	普 通	80	10%	○									○		
鹿 児 島 玉 龍	普 通	240 *2	10%	○	○	10%	24						○		
鹿 児 島 商 業	ビジネスクリエイト	120	40%	○	○			第3志望まで	第3志望まで	第3志望まで			○		
	情報イノベーション	120	40%	○	○										○
	アスリートスポーツ	40	80%	○	○										○
鹿 児 島 女 子	フィナンシャルビジネス	40	50%	○	○			第5志望まで	第5志望まで	第5志望まで			○		
	ビジネスデザイン	80	50%	○	○										○
	スポーツビジネス	40	80%	○	○										○
	ファッション・フードクリエイト	80	50%	○	○										○
	ライフ・スポーツ	80	60%	○	○										○

南薩学区

学 校 名	学 科 名	募 集 定 員	推 薦 入 試			学 区 外 か ら の 一 定 枠		学 科 併 願 可 能 学 科			く ぐ り 募 集	帰 国 生 特 選 抜
		(人)	定 員 (以 内)	自 己 推 薦	学 校 推 薦	(以 内)	(人)	推 薦 入 試	学 力 検 査	第 二 次 選 抜		
指 宿	普 通	80	10%	○	○							○
山 川	園芸工学 ・農業経済	40	30%	○	○							○
	生 活 情 報	40	30%	○	○							○
頤 娃	普 通	40	10%	○	○				機 械 電 気 普 通	機 械 電 気 普 通		○
	機 械 電 気	40	30%	○	○							○
枕 崎	総 合 学 科	80	30%	○	○							○
鹿 児 島 水 産	海 洋	40	20%	○	○				第3志望まで			○
	情 報 通 信	40	20%	○	○							○
	食 品 工 学	40	20%	○	○							○
加 世 田	普 通	120	10%	○	○							○
加 世 田 常 潤	食 農 プ ロ デ ュース	40	30%	○					生 活 福 祉	生 活 福 祉		○
	生 活 福 祉	40	30%	○					食 農 プ ロ デ ュース	食 農 プ ロ デ ュース		○
川 辺	普 通	80	10%	○	○							○
薩 南 工 業	機 械	40	30%	○	○				第4志望まで			○
	建 築	40	30%	○	○							○
	情 報 技 術	40	30%	○	○							○
	生 活 科 学	40	30%	○	○							○
指 宿 商 業	商 業 マ ネ ジ メ ン ト	120	30%	○	○				第3志望まで			○
	会 計 マ ネ ジ メ ン ト	40	30%	○	○							○
	情 報 マ ネ ジ メ ン ト	40	30%	○	○							○

北薩学区

学 校 名	学 科 名	募 集 定 員	推 薦 入 試				学 区 外 か ら の 一 定 枠		学 科 併 願 可 能 学 科			く ぐ り 募 集	帰 国 生 特 別 選 抜
		(人)	定 員 (以 内)	自 己 推 薦	学 校 推 薦	(以 内)	(人)	推 薦 入 試	学 力 検 査	第 二 次 選 抜			
川 内	普 通	280	10%		○	○	10%	28					○
川 内 商 工	機 械	120	30%		○	○			}	第3志望まで			○
	電 気	80	30%		○	○					○		
	インテリア	40	30%		○	○					○		
	商 業	80	30%		○	○					○		
川薩清修館	ビジネス会計	40	30%		○					総合学科			○
	総合学 科	80	30%		○					ビジネス会計			○
薩 摩 中 央	普 通	40	10%			○	10%	4	}	第2志望まで			○
	生 物 生 産	40	30%		○	○					○		
	農 業 工 学	40	30%		○	○					○		
	福 祉	40	30%		○	○					○		
鶴 翔	農 業 科 学	40	30%			○			}	第3志望まで			○
	食 品 技 術	40	30%			○					○		
	総 合 学 科	80	30%			○					○		
野 田 女 子	食 物	40	30%		○					生活文化			○
	生 活 文 化	40	30%		○					食物			○
	衛 生 看 護	40	30%		○								○
出 水	普 通	120	10%		○	○							○
出 水 工 業	機 械 電 気	80	30%		○								○
	建 築	40	30%		○								○
出 水 商 業	商 業	80	30%		○	○			情報処理	情報処理	情報処理		○
	情 報 処 理	80	30%		○	○			商業	商業	商業		○

始良・伊佐学区

学 校 名	学 科 名	募 集 定 員	推 薦 入 試				学 区 外 か ら の 一 定 枠		学 科 併 願 可 能 学 科			く ぐ り 募 集	帰 国 生 特 別 選 抜
		(人)	定 員 (以 内)	自 己 推 薦	学 校 推 薦	(以 内)	(人)	推 薦 入 試	学 力 検 査	第 二 次 選 抜			
大 口	普 通	80	10%		○	○							○
伊 佐 農 林	農 林 技 術	40	30%			○							○
	生 活 情 報	40	30%			○							○
霧 島	機 械	40	30%		○				総合学科	総合学科			○
	総 合 学 科	40	30%		○				機 械	機 械			○
蒲 生	普 通	80	10%		○				情 報 処 理	情 報 処 理			○
	情 報 処 理	40	30%		○				普 通	普 通			○
加 治 木	普 通	320	10%		○	○	10%	32					○
加 治 木 工 業	機 械	80	30%		○			第3志望まで	第3志望まで	全学科		○	
	電 気	40	30%		○						○		
	電 子	40	30%		○						○		
	工 業 化 学	40	30%		○						○		
	建 築	40	30%		○						○		
	土 木	40	30%		○						○		
隼 人 工 業	インテリア	40	30%		○	○			第3志望まで		○		
	電 子 機 械	80	30%		○	○				○			
	情 報 技 術	40	30%		○	○				○			
国 分	普 通	280	10%		○	○	10%	28		理数	理数		○
	理 数	40	30%		○	○				普 通	普 通		○
福 山	普 通	40	10%		○								○
	商 業	40	30%		○								○
国 分 中 央	園 芸 工 学	40	30%		○	○			第2希望まで	第2希望まで		○	
	生 活 文 化	80	30%		○	○					○		
	ビジネス情報	120	30%		○	○					○		
		スポーツ健康	40	60%		○				園芸工学、生活文化 又はビジネス情報	園芸工学、生活文化 又はビジネス情報		○

大隅学区

学 校 名	学 科 名	募 集 定 員	推 薦 入 試				学 区 外 か ら の 一 定 枠		学 科 併 願 可 能 学 科			く ぐ り 募 集	帰 国 生 特 別 選 抜
		(人)	定 員 (以 内)	自 己 推 薦	学 校 推 薦	(以 内)	(人)		推 薦 入 試	学 力 検 査	第 二 次 選 抜		
曾 於	文 理	40	30%	○	○								○
	普 通	40	10%	○	○	10%	4						○
	畜 産 食 農	40	30%	○	○								○
	機 械 電 子	40	30%	○	○								○
	商 業	40	30%	○	○								○
志 布 志	普 通	120	30% *4	○	○								○
串 良 商 業	情 報 処 理	80	30%	○	○					総合ビジネス 情報処理	総合ビジネス 情報処理		○
	総合ビジネス	40	30%	○	○								○
楠 隼	普 通	90 *5											
鹿 屋	普 通	240	10%	○	○	10%	24						○
鹿 屋 農 業	農 業	40	30%	○	○					第2志望まで	第2志望まで		○
	園 芸	40	30%	○	○								○
	畜 産	40	30%	○	○								○
	農 業 機 械	40	30%	○	○								○
	農 林 環 境	40	30%	○	○								○
	食 と 生 活	40	30%	○	○								○
鹿 屋 工 業	機 械	80	30%	○	○					第3志望まで			○
	電 気	40	30%	○	○								○
	電 子	40	30%	○	○								○
	建 築	40	30%	○	○								○
	土 木	40	30%	○	○								○
垂 水	普 通	40	10%	○	○					生活デザイン 普通	生活デザイン 普通		○
	生活デザイン	40	20%	○	○								○
南 大 隅	商 業	80	30%	○	○								○
鹿 屋 女 子	普 通	40	10%	○		10%	4	第3志望まで	第3志望まで	第3志望まで			○
	情報ビジネス	80	30%	○									○
	生 活 科 学	80	30%	○									○

熊毛学区

学 校 名	学 科 名	募 集 定 員	推 薦 入 試				学 区 外 か ら の 一 定 枠		学 科 併 願 可 能 学 科			く ぐ り 募 集	帰 国 生 特 別 選 抜
		(人)	定 員 (以 内)	自 己 推 薦	学 校 推 薦	(以 内)	(人)		推 薦 入 試	学 力 検 査	第 二 次 選 抜		
種 子 島	普 通	80	10%	○	○					第2志望まで	第2志望まで		○
	生 物 生 産	40	30%	○	○								○
	電 気	40	30%	○	○								○
種 子 島 中 央	普 通	40	10%	○	○					第3志望まで	第3志望まで		○
	ミライデザイン	40	10%	○	○								○
	情 報 処 理	40	20%	○	○								○
屋 久 島	普 通	80	10%	○	○					情報ビジネス 普通	情報ビジネス 普通		○
	情報ビジネス	40	30%	○	○								○

大島学区

学 校 名	学 科 名	募 集 定 員	推 薦 入 試				学 区 外 か ら の 一 定 枠		学 科 併 願 可 能 学 科			く ぐ り 募 集	帰 国 生 特 別 選 抜
		(人)	定 員 (以 内)	自 己 推 薦	学 校 推 薦	(以 内)	(人)		推 薦 入 試	学 力 検 査	第 二 次 選 抜		
大 島	普 通	240	10%	○	○								○
奄 美	機 械 電 気	40	30%	○	○								○
	商 業	40	30%	○	○					情報処理 商業			○
	情 報 処 理	40	30%	○	○								○
	家 政	40	30%	○	○								○
	衛 生 看 護	40	30%	○	○								○
大 島 北	普 通	40	10%	○	○					情報処理 普通	情報処理 普通		○
	情 報 処 理	40	30%	○	○								○
古 仁 屋	普 通	80	10%	○	○								○
喜 界	普 通	40								商業 普通	商業 普通		○
	商 業	40	*6										○
徳 之 島	普 通	80	10%	○	○					総合学科 普通	総合学科 普通		○
	総 合 学 科	40	30%	○	○								○
沖 永 良 部	普 通	80	10%	○	○				商業 普通	商業 普通	商業 普通		○
	商 業	40	30%	○	○								○
与 論	普 通	80	10% *7		○								○

全 日 制

- (注) *1 普通科において体育、書道、英語コース合わせて20%。体育、書道、英語コース以外の一般を10%とする。
自己推薦方式は体育、書道、英語コースにおいて実施する。
*2 鹿児島玉龍中学校からの入学者（120人以内）を含む。
*3 畜産食農科において他学科との併願は不可とする。文理科、普通科、機械電子科、商業科の間で第2志望まで併願できる。
*4 普通科において英語コース20%、それ以外の一般を10%とする。
*5 楠隼中学校からの入学者（60人以内）を含む。
*6 連携型中高一貫教育校入学者選抜を実施する。
*7 推薦入学者選抜及び連携型中高一貫教育校入学者選抜を実施する。

定 時 制

学 校 名	学 科 名	募 集 定 員	推 薦 入 試			学 区 外 か ら の 一 定 枠		学 科 併 願 可 能 学 科			く ぐ り 募 集	帰 国 生 特 別 選 抜
		(人)	定 員 (以 内)	自 己 推 薦	学 校 推 薦	(以 内)	(人)	推 薦 入 試	学 力 検 査	第 二 次 選 抜		
開 陽	普 通	40	10%	○					オ フィ ス 情 報			○
	オ フィ ス 情 報	40	10%	○					普 通			○
奄 美	商 業	40	30%	○	○							○

通 信 制

学 校 名	学 科 名	募 集 定 員	推 薦 入 試			学 区 外 か ら の 一 定 枠	学 科 併 願 可 能 学 科			く ぐ り 募 集	帰 国 生 特 別 選 抜
		(人)	定 員 (以 内)	自 己 推 薦	学 校 推 薦	(以 内)	(人)	推 薦 入 試	学 力 検 査		
開 陽	普 通 衛 生 看 護	選 抜 方 法 等 は 後 日 発 表									

令 和 8 年 度 入 試 日 程

【第一次入学者選抜】

月 日	推 薦 入 学 者 選 抜 及 び 帰 国 生 徒 等 特 別 入 学 者 選 抜	一 般 入 学 者 選 抜
12月 5日 (金)	県内「学区外許可申請」及び「学区指定申請」の市町村教委締切	
1月 5日 (月)	県外からの「学区外高等学校入学志願許可申請」の県教委締切(正午まで)	
1月20日 (火)	願書受付	
1月26日 (月)	願書締切(正午まで)	
1月30日 (金)		保護者の転勤に伴う入学志願の特例締切(正午まで)
2月 3日 (火)	面接等実施	
2月 5日 (木)		願書受付
2月 9日 (月)	合格者内定	
2月12日 (木)		願書締切(正午まで)
2月13日 (金)		出願者数公表
2月16日 (月)		出願変更受付
2月20日 (金)		出願変更締切(正午まで)
2月24日 (火)		最終出願者数公表
3月 4日 (水)		学力検査(国語・理科・英語)
3月 5日 (木)		学力検査(社会・数学)
3月10日 (火)		追加の選抜
3月12日 (木)	合格者発表, 第二次入学者選抜を実施する学校・学科及び募集枠発表	

【第二次入学者選抜】

3月17日(火) ～18日(水)正午	願書受付
3月19日 (木)	面接・作文等実施
3月23日 (月)	合格者発表

【通信制】

願書受付 3月9日(月)から3月27日(金)正午まで
(前期) 合格者発表 4月1日(水)から4月2日(木)までに発送

- 「学区外許可申請」及び「学区指定申請」の提出先は、県立高等学校を志願する場合は県教育庁、市立高等学校を志願する場合は当該市教育委員会事務局になります。詳細については、「令和8年度鹿児島県公立高等学校入学者選抜実施要綱」をご覧ください。
- 県外から本県の公立高等学校を志願する場合の問い合わせは、県教育庁高校教育課高校教育係 (Tel099-286-5291) へ連絡してください。

Q 1

推薦入試とはどのようなものですか。

A

学力検査を実施せず、中学校3年間の学習や活動状況、面接、作文等を総合して選抜する制度です。部活動や生徒会活動など学力検査でははかれない中学時代の取組を積極的に評価します。各高校が定めた枠内（10%～80%）で実施します。令和7年度入学者選抜から学校推薦方式と自己推薦方式が実施されています。

Q 2

推薦入試の学校推薦方式と自己推薦方式とはどのようなものですか。

A

学校推薦方式は中学校長の推薦が必要で、自己推薦方式は自らの意思で出願できます。両方式を実施している高校や、いずれか一方のみを実施している高校等がありますので、選抜方法の確認と合わせて各校の推薦入学者選抜の募集要項をご確認ください。学校推薦方式と自己推薦方式の両方に
出願することはできません。

Q 3

学科併願とはどのような制度ですか。

A

二つ以上の学科がある高校で学科に志望順位（第1志望、第2志望等）をつけて出願できる制度です。学科併願で出願することで合格の可能性が広がります。

Q 4

くくり募集とはどのような制度ですか。

A

二つ以上の学科をまとめて募集し、1年生では共通の学習をして、2年生から各学科に分かれて学習する制度です。高校に入って学びながら自分の進む学科を決めていきます。

Q 5

帰国生徒等特別入学者選抜とはどのような制度ですか。

A

外国における在学期間が継続して3年以上で、帰国又は来日後3年以内の帰国生徒及び外国人生徒を積極的に受け入れるための選抜制度です。海外での生活経験を評価し、学力検査を実施せずに選抜します。

Q 6

第二次入学者選抜とはどのような制度ですか。

A

第一次入学者選抜（推薦入試、一般入試等）の合格者が募集定員に満たない学校・学科で実施する入試で、公立高校で学びたい意志をもつ人に再度受検の機会を提供するものです。再度の学力検査は行わず面接、作文等で合格者を決定します。

Q 7

自己申告書とはどのようなものですか。

A

志願者のうち、特別な理由等で年間30日以上欠席のある者が志願の動機・理由等を書いて、中学校長を経て、志願先の高等学校長に提出できる書類のことです。

Q 8

入学者選抜学力検査における検査結果の情報提供とはどのような制度ですか。

A

受検者は、入学者選抜学力検査における教科別得点及び合計得点（傾斜配点を実施している場合は、傾斜配点後の得点）を受検者本人に限り、簡易な申出によって情報提供を求めることができます。情報提供の申出は、各自が受検した高等学校で、口頭によって申し出ることにより、その際生徒手帳などの本人であることを証明する書類（原則として、本人の写真が貼付されたもの）及び受検票を必要とします。なお、郵送、電話、ファクシミリ又は電子メールによる申出は受け付けません。

Q 9

身体的障害等のため受検上何らかの措置（配慮）を必要とする受検者はどうしたらよいのですか。

A

身体的障害等のため受検上何らかの措置（配慮）を必要とする受検者は、出身中学校長から志願先の高等学校長に申し出ることになっています。出願が確定していなくてもかまわないので、まずは出身中学校長を通じて、志願希望先の高等学校長に相談してください。

検索ガイド



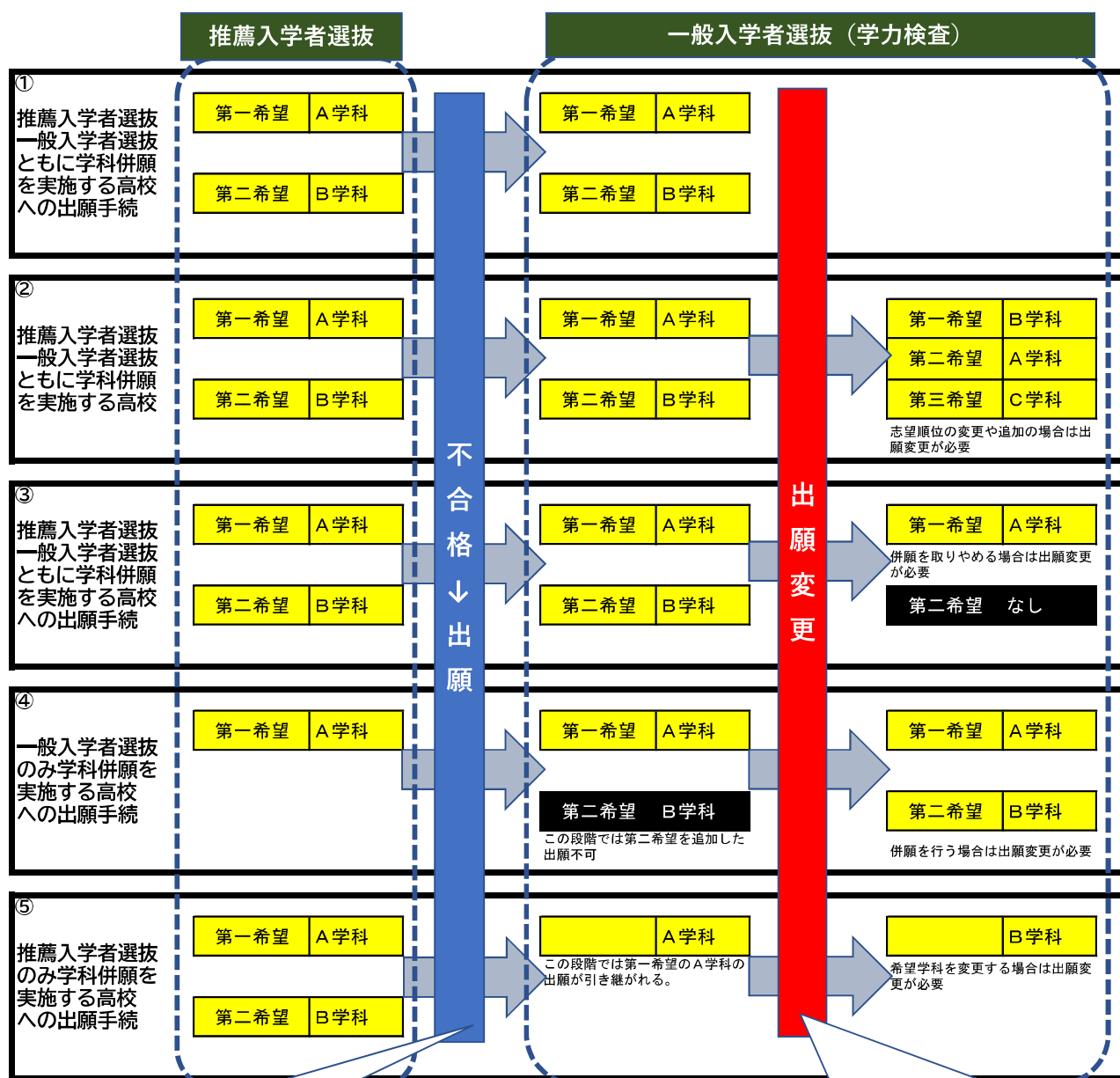
推薦入学者選抜と学科併願（推薦入学者選抜不合格の際の留意事項）について

1 推薦入学者選抜の不合格者が一般入学者選抜（学力検査）に出願する際の取扱いについて

推薦入学者選抜の結果、不合格となった者については、次に掲げる高等学校へ、それぞれに定める手続により出願することができます。

- 1 推薦入学者選抜を受検した高等学校の同一の学科へ志願する場合
推薦入学者選抜受検票を、出願期間内に当該高等学校長に提出し、改めて受検票の交付を受ける。
- 2 推薦入学者選抜を受検した高等学校の受検した学科以外の学科へ志願する場合
1の手続を行った上で、出願変更の手続を行う。
- 3 推薦入学者選抜を受検した高等学校と異なる高等学校への入学を志願する場合
1の手続を行った上で、出願変更の手続を行う。

2 学科併願に係る手続（例）



推薦入学者選抜で不合格となった志願者は、引き続き一般入学者選抜（学力検査）に出願することになります。

一般入学者選抜（学力検査）で学科併願を実施する高校に出願する場合は、推薦入学者選抜における学科の希望順が引き継がれることになります。

【上記①】

推薦入学者選抜のみ学科併願を実施する高校の場合は、一般入学者選抜（学力検査）では、推薦入学者選抜における第一希望の学科に引き続き出願したと見なされます。【上記⑤】

出願変更により、併願する学科の追加、取消、希望順位の変更ができます。【上記②③】

なお、一般入学者選抜（学力検査）のみ学科併願を実施する高校に出願する場合は、出願変更により、第二希望以下の学科を希望することができます。【上記④】

学科併願においても、全日制普通科で学区を有する学校については、「学区外の学校に出願変更できるのは、学区外の学校に出願していた者に限る」という規定に御注意ください。

例えば、普通科を含む複数の学科を設置する学校において、普通科以外の学科（全県学区）を第1志望、普通科を第2志望として出願した場合、第1志望を優先とするので、一定枠内の学区外入学志願による出願をしたことにはなりません。したがって、この場合は一定枠内の学区外入学志願により学区外の全日制普通科へ出願変更することはできません。